

あかねちゃんとミヤマアカネ祭

辰巳淳子・横田 靖・メンバー一同（ミヤマアカネ生態研究会）

ミヤマアカネ生態研究会（愛称：あかねちゃんクラブ）は、兵庫県レッドデータブックで、Cランクに記載されているアカトンボ「ミヤマアカネ」の生態調査をしています。

主な調査方法は、翅にNo.をつけて、個体を識別するマーキングという方法です。

また、この調査をきっかけに、小学校での調査支援や、成人向自然学習講座の支援などに活動範囲は広がって、様々な地域、方々との交流が広がっています。

その他に大きな活動として、ミヤマアカネをもっと知ってもらおう目的ではじめた、「みやまあかね祭」があります。

1. 活動内容

- 1) マーキング調査 2) みやまあかね祭 3) マーキング調査支援

などがあります。

1) マーキング調査

生態を知るために欠かせない調査です。翅にNo.をつけて放し、再捕獲による情報から、移動距離や、体色変化などを分析します。

逆瀬川でマーキングした個体が、池田市で再捕獲されたことは、予想外の結果でした。

赤トンボの寿命は？

赤トンボの仲間ミヤマアカネについて個体識別のマーキング調査を4年間行なった結果、羽化してから死までの成虫のおよその寿命が明らかになりました。その記録と最長寿命個体の写真を紹介します。

年度	マーク	性別	7/31迄の日	再捕獲日	生存日数
2008	36	♂	2008/7/19	2008/12/3	138
2009	89	♂	2009/7/24	2009/11/25	125
2009	127	♂	2009/7/27	2009/11/23	120
2008	6	♂	2008/7/15	2008/11/10	119
2008	35	♂	2008/7/19	2008/11/14	119
2008	90	♂	2008/8/6	2008/11/25	112
2008	26	♂	2008/7/19	2008/11/8	110
2009	51	♂	2009/7/22	2009/11/7	109
2008	108	♂	2008/8/11	2008/11/26	108
2009	236	♂	2009/8/11	2009/11/26	108
2009	22	♂	2009/7/14	2009/10/27	106
2009	77	♂	2009/7/22	2009/11/4	105
2009	257	♂	2009/8/15	2009/11/26	104
2008	126	♀	2008/8/16	2008/11/25	102
2009	8	♀	2009/7/13	2009/10/22	102
2009	24	♀	2009/7/14	2009/10/23	102
2009	154	♂	2009/7/31	2009/11/7	100
2009	195	♂	2009/8/7	2009/11/14	100
2009	281	♂	2009/8/18	2009/11/25	100

*生存日数100日以上を紹介



マーキング時
2008.7.19 池田市吉田町

⇒



マーキング後138日目
2008.12.3 池田市吉田町

ミヤマアカネって移動するの？

赤トンボの仲間ミヤマアカネについて個体識別のマーキング調査を4年間行なった結果、移動していることが判りました。中に長距離移動も4年間毎年記録されました。何処へ移動しているのかはまだ判りませんが、兵庫県宝塚市・西宮市から池田市に移動した記録とその写真を紹介します。

個体番号	性別	マーク日	マーク場所	マーク場所	最終捕獲日	最終捕獲場所	生存日数	移動距離
カ1-558	♂	2006/9/24	兵庫県宝塚市川口	兵庫県宝塚市	2006/11/16	大塚町(池田市西宮町)	54	13km
H8-54	♂	2007/10/8	兵庫県西宮市池田川	兵庫県西宮市	2007/11/3	大塚町(池田市西宮町)	27	13km
カ9-694	♂	2007/10/17	兵庫県西宮市池田川	兵庫県西宮市	2007/11/15	大塚町(池田市西宮町)	30	13km
W4-634	♂	2008/8/24	兵庫県西宮市池田川	兵庫県西宮市	2008/10/27	大塚町(池田市西宮町)	65	13km
T1-29	♂	2009/9/2	兵庫県西宮市池田川	兵庫県西宮市	2009/10/16	大塚町(池田市西宮町)	45	13km
カ7-87	♂	?	?	?	2008/11/6	大塚町(池田市西宮町)	-	-

長距離移動してきた写真



① カ1-558 2006.11.16 ② H8-54 2007.11.3
③ カ9-694 2007.11.15 ④ W4-634 2008.10.27
⑤ T1-29 2009.10.16 ⑥ カ7-87 2008.11.6

2) みやまあかね祭

マーキングとともに、活動の中心になるものです。

2010年8月には第6回を無事に終えることができました。来年度は、今までと少し形を変えて開催を予定しており、そこで今までの祭を振り返ることにしました。

2. 「みやまあかね祭」をふりかえる

1) みやまあかね祭 概要

目的：地域や、学校等に「ミヤマアカネ」を祭での自然体験を通じて知ってもらうことを目的

主催：ミヤマアカネ生態研究会 **共催：**兵庫県立人と自然の博物館

協力：(社)宝塚ゴルフ倶楽部・コミュニティ西山・宝塚市立西山小学校

(その他：川がきクラブ・テネラル・ルンルンプラザ・宝塚市立仁川小学校)

会場：逆瀬川に隣接する「宝塚ゴルフ倶楽部」の芝生広場。

開催時期：年1回開催。8月最終月曜日 **開催時間：**15時～18時まで

参加方法：事前申し込みが必要。(参加証を配布)

募集対象：地域住民・近隣小学校に案内を配布。

体験内容：投網体験・スーパー昆虫ビンゴ・はっばビンゴ・紙飛行機選手権など

2) 勝手に選ぶヒット体験企画 (しかし。。。)

第1回：「**連凧作り**」会場で参加者に1機ずつ作ってもらい、全て繋げて上げた。(120機ほど)

→上がった時は壮観、時間的に会場に風が吹かず、保護者が力いっぱい走った。

第2回：「**スーパー葉っぱビンゴ**」イラストで示したような形の葉っぱを見つける。

→幼児でも出来たのでよかったが、葉の判定を出来る専門の方が1名だけで、大変であった。

第1回より毎回開催：「**投網体験**」会場内の小川で投網をつかって水生生物をとる。

→めったにできない体験でよいが、スタッフ数のと、大勢に体験してもらえない。

3回目以降毎回開催：「**紙飛行機選手権**」事前に紙飛行機を作ってきてもらい飛距離を競う。

あかねちゃんにちなんだデザインをする。

予想外に大人が熱中する。10メートルを超えたときもある。人気企画！

→計測がスムーズになれば。。。。

3) 祭への思い

6回の開催で、のべ1540人の参加者があった。そしてすべてお天気に恵まれ、事故もなく開催することができました。2010年8月に第6回の祭を終えてあらためて「よくぞ6回も開催できたものだ」というのが正直な感想。まったくの素人の集まりで、人博の八木先生の指導を受けながら、1年目はともかく開催しよう！との思いと、開催できるかの不安。また、常に気になるのは、安全面と天気。しかし、一度開催してしまうと、もっとたくさんの人に、もっと楽しくとの重いが強くなってきて。回を重ねると、毎年少しずつスタッフも変わるためお互いの思いの違いをどう祭につなげていくか。4月ごろには、中心スタッフは祭のことを気にかけます。などなど。

しかし、できるだけ形を変えてでも、方法を変えてでも、規模を変えてでも続けて行きたいとの気持ちは6年間変わることがなかったと思います。

みやまあかね祭参加者

※参加者数にはスタッフも含みます

開催年月日			参加者数			
回	年	月日	計	内訳		
				幼児	小学生	大人
第1回	2005	8月29日	466	44	243	179
第2回	2006	8月28日	289	27	116	146
第3回	2007	8月27日	227	23	98	106
第4回	2008	8月25日	182	27	66	89
第5回	2009	8月31日	189	33	76	80
第6回	2010	8月30日	187	31	61	95



祭のはじまり (第1回)



広い芝生の会場



連凧上げ (第1回)



投網体験



紙飛行機選手権



昆虫博士は大人気



祭にはかかせない地域の方々



お母さんだっぴんが

4) 分析

第1回は予想を遥かに上回る参加者数でした。

第2回目以降は、当初の想定程度。とわいえ、6回開催していますが、地域限定型のイベントであるにも関わらず、参加者はどの回も200名前後ですので、主催側としても大変嬉しい結果を残していると思います。この結果の理由として以下のことが考えられます。

- ①**場所の魅力**：「宝塚ゴルフ倶楽部」という、近隣にありながら、通常では入れない場所である興味。自然がたくさんあることは予想がつき、虫を探すのに期待がもてる。敷地内ということで、ある程度の安全性がある。
- ②**日程設定**：夏季最終の月曜日は、始業式直前でもあり旅行などの大型の予定も少ないと考えられるが、子供にとってはまだ夏休み中。なにかしたい、どこか行きたい、連れて行きたいと。
- ③**時間設定**：真夏ということで、暑さが収まる午後からの開催に設定したことが、参加者にとってもゆっくり参加できたのでは。
- ④**専門性のあるスタッフの協力**：人博研究員、他の連携グループの協力により、ただ単に遊ぶのでなく、その場で専門家等に話を聞けることは参加者にとっては魅力。
- ⑤**事前申込による安心感**：ただ4回目以降は、おおよそ同程度の参加者数です。これは参加者が、固定化しているとも考えられます。また、小学生の構成も、当初のねらいである、総合学習で、ミヤマアカネを学習している4年生、学習した5・6年生の参加が少ない。

5) 課題

ミヤマアカネというトンボについては、祭について名前程度は覚えてもらったのではないかと。当初の大きな目標はとりあえず達成したとかがえられます。

しかし、6回の開催で今後の課題が見えてきました。

- ①**学習要素を取り入れにくい**：会場の場所柄、「ミヤマアカネがどうしてこのあたりに生息していて、どんなトンボなのか。どれだけ特別なことなのか。」の紹介、クラブの活動内容、特にマーキング調査の意義など、学習要素的な面を紹介しにくい。
- ②**ミヤマアカネの捕獲が少ない**：会場内に飛んではいるが、個体数としては少なく、ミヤマアカネを知るには物足りない。
- ③**日程設定がむずかしい**：「ゴルフ場」営業に支障のない日程での開催となるため。
- ④**スタッフの不足**：参加者数の割りにスタッフが少なく、地域コミュニティの方々等にかなり頼っている。
- ⑤**企画の刷新**：企画が固定してきたために今後はリピーターを望めない、などが考えられる。

「課題」を踏まえたうえで、「祭」は変わります！